

ご挨拶

2019年度の日本協同教育学会第16回大会は、10月25日～27日に高知大学で開催いたします。

高知大学では10年以上にわたり社会協働教育プログラムを推進してきており、2015年には38年ぶりとなる新学部「地域協働学部」を開設し、地域協働による教育を全学的に展開しています。本大会では、「地域と学校を支え育てる協働のかたち協同のすがた」をテーマに、教室内だけでなく学校と地域の協同・協働といった活動も視野に入れながら、協同教育の可能性を探っていきたいと考えております。

10月25日のプレ大会では、高知大学地域協働学部の実習科目へのエクスカージョンという形で、学部学生・教員とともに学外実習の授業に参加いただけるように準備を進めております。10月26日・27日の本大会では、研究発表・実践報告・ラウンドテーブル・ワークショップ等を開催します。多くのご発表を期待しております。1日目は中村文子氏による特別ワークショップ、2日目の午後には、コミュニティデザインの先駆者であり、学生教育にも携わっておられる山崎亮氏をお迎えして記念講演を開催します。

初の四国開催となります本大会において、幅広い研究・実践が報告され、新元号とともに、この土佐の地から新しいアクションやヒントが溢れ出る大会になるように、実行委員会一同、微力ながら準備を進めております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本協同教育学会第16回大会実行委員会
委員長 俣野 秀典

9月28日時点でのスケジュールです。

場合により一部変更の可能性があることをご了承くださいませ。

口頭発表

研究発表と実践報告の2タイプで募集しましたが、区別すること無くテーマごとにまとめて教室配置をしております。発表時間はいずれも1件あたり最大25分です。発表15分と質疑10分の配分が一般的です。

本会は発表後の質疑応答を中心に、参加者と発表者の相互交流を通じた学び合いを重視しますので、必ず質疑応答の時間を十分に取るように発表を準備してください。

ラウンドテーブル

一つのトピックについて企画者の誘導で参加者相互に情報交換や意見交換をすすめ、課題の整理・焦点化や研究計画の具体化など、参加者全員で討議します。冒頭の15分程度でトピックの解説や進行方法の説明などが行われるのが一般的です。その後は、参加者相互の自己紹介など、企画者のリードによって展開は多様です。PCは各自でご用意いただき、備え付けのプロジェクターに接続してください。

ワークショップ

新しい学習指導法の体験など学習体験活動が中心になります。新たに開発した技法の実演や検討の機会として活用できます。PCは各自でご用意いただき、備え付けのプロジェクターに接続してください。

第1日 (10月26日：午前)

310 教室 ワークショップ① 10:00~12:00

気づきのファシリテーション：「教室内ランク」をめぐって
岩田好司 (久留米大学)

322 教室 口頭発表① 10:00~12:00

座長：中西良文 (三重大学)

音楽を深く味わう鑑賞の授業づくり
熊谷みち (名取市立増田西小学校)

さらなる互惠関係を求めて 全ての子が自信高める学び

—互惠関係向上の取り組みと成果—

最首昌和 (創価大協同カフェ・相模原市立上鶴間中学校)

中学校3年間を生徒とともに見通した体育授業の設計と実際

—自立の学びを目指して—

仁地裕介 (能見市立根上中学校)・森伸也 (能見市立寺井中学校)・杉江修治

小学校の環境教育における協同教育技法の導入

佐藤敬一 (東京農工大学)

323 教室 口頭発表② 10:00~12:00

座長：緒方巧 (梅花女子大学)

看図アプローチを活用した「語りカフェ」—学生とともに語るということ—

山下雅佳実 (中村学園大学)・田中伸子 (長崎県立看護学校)

看図アプローチ協同学習による絵本づくり授業実践

石田ゆき (日本医療大学)・山下雅佳実 (中村学園大学)

鹿内信善 (天使大学)

臨地実習におけるミーティングをLTD話し合い学習法を基に改善を試みた効果について

中島美和子・吉田真奈美 (島根県立石見高等看護学院)

看図アプローチを導入した効果と課題 —教員全員参加型授業研究の視点から—

田中伸子 (長崎県立看護学校)・山下雅佳実 (中村学園大学)

鹿内信善 (天使大学)

331 教室 口頭発表③ 10:00~12:00

座長：高旗浩志（岡山大学）

自然制約理解の下での態度変容促進を含む議論型の環境教育のあり方の検討
楠美順理（中京大学）

1940-50年代アメリカにおける「協同学習」の展開 — 進歩主義教育運動と D.W.
ジョンソンらの協同学習研究とをつなぐ—
福島祐貴（盛岡大学）

歴史的事例の学習を基にした「考える道徳」の実現に関する考察
—「歴史と私たち自身に向き合う（Facing History and Ourselves）」による
ワークショップの検討を通して—
原口友輝（中京大学）

漫才の「ツッコミ」役が担う仲介機能に着目したプレゼンテーションのための対
話的トーク能力の育成
鈴木栄幸・安達加琳（茨城大学）

332 教室 ラウンドテーブル① 10:00~12:00

看護教育に今なぜ協同学習が必要なのか — 現状と今後の課題—
鮫島輝美（京都光華女子大学）・那須さとみ（京都看護大学）
新屋智子（京都中央看護保健大学校）・前田絢子（京都橘大学）

333 教室 ワークショップ② 10:00~12:00

「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのプレゼンテーション教育
佐瀬竜一（常葉大学）

334 教室 ラウンドテーブル② 10:00~12:00

「真の協同的学び」を成立させるには？
小松誠和・中村桂一郎・原樹・安永悟（久留米大学）

第1日 (10月26日：午後)

51 番教室 開会式・総会 13:00~13:45

310 教室 特別ワークショップ 14:00~17:00

「学生主体」の授業デザインと運営手法 —ボブ・パイクの手法を体験しよう—
中村文子 (ダイナミックヒューマンキャピタル株式会社)
俣野秀典 (高知大学)

311 教室 ワークショップ③ 14:00~17:00

協同学習で展開する主体的、対話的で深い学び
—協同学習による小、中、高等学校の先生のための授業づくり—
石垣則昭 (北海道医療大学)・穂山豊希 (室蘭港北中学校)

322 教室 口頭発表④ 14:00~16:30

座長：西口利文 (大阪産業大学)

社会的に共有された学習調整の視点提示が授業実践型相互教授による算数グループ学習に及ぼす効果 (2) —SSRL 方略使用に対する学業達成度への効果—
町岳 (静岡大学)

グループ学習における質問を抑制する状況的要因の検討
—コンジョイント分析を用いた影響力の測定—
児玉佳一 (大東文化大学)

小学生から大学生までのペア学習による学習効果の検証
—効果量による量的評価を中心にして—
福本義久 (四天王寺大学)

汎用能力とコミュニケーションスキル及び批判的思考力との関係
—大学の授業より—
—之瀬敦幾 (常葉大学)

協同学習におけるグループの特徴が動機づけに及ぼす影響
—グループによる協同学習に対する社会的動機づけの影響の違い—
中西良文・上田仁・西井亮太郎 (三重大学)・石井僚 (奈良教育大学)

協働する英語のライティング —その可能性と課題—

広瀬恵子（愛知県立大学）

協同学習の理論と技法を協同学習の手法で学ぶ英語の授業

松尾徹（大阪女学院大学）

学部の英語科目への協同学習の導入

階戸陽太（北陸大学）

協同学習による初修外国語教育の展開 —看護中国語授業の実践を中心に—

李偉・管虹（久留米大学）

授業前後の協同作業認識の変化とその要因の検討

—多様な背景をもつ准看護学生への協同学習を用いた授業実践を通して—

ト部紘子（武庫川女子大学）

クラスの構成員の変化による教育効果への影響 2

高橋敏宏・福崎優太（長浜バイオ大学）

大学生における協同作業認識が動機づけ調整方略および協同作業満足度に及ぼす影響

佐瀬竜一・石川順・瀧川晟矢（常葉大学）

初年次におけるグループ活動の満足度に影響を与える要因

富岡比呂子（創価大学）・森川由美（四国学院大学）

短期大学の多人数授業への協同授業の適用（2）

—交代制意識とディスカッションスキルを中心に—

藤田文（大分県立芸術文化短期大学）

教育学部初年次演習科目における探究的協同学習の授業実践

—教員集団による協同的な支援の効果と可能性に着目して—

和井田節子（共栄大学）

331 教室 口頭発表⑦ 14:00~16:30

座長：甲原定房（山口県立大学）

LTD 話し合い学習法を用いた大学教養化学の授業（6）

—情意・態度と認知の同時伸長の検討—

大和田秀一・小糸健太郎・上野岳史（酪農学園大学）

LTD 話し合い学習法による能力変化に対する学生の自己認識

嶋田みのり・遠海友紀（東北学院大学）・村上正行（大阪大学）

看図アプローチを用いた看護の「観察」概念への応用

鮫島輝美（京都光華女子大学）・須藤文（久留米大学）・鹿内信善（天使大学）

教科外活動での看図アプローチを活用した協同学習の実践と効果

吉野千春・田中伸子（長崎県立看護学校）・石田ゆき（日本医療大学）

山下雅佳実（中村学園大学）

新設看護専門学校に協同学習を導入した試み

—学生とともに受講した教員に着目して—

平上久美子・安永悟（久留米大学）・木下照子（福山医療専門学校）

332 教室 ワークショップ④ 14:00~16:00

主体的に学ぶ力を育成する「問いづくり」—Question Formulation Technique—

佐藤広子（創価大学）

333 教室 ラウンドテーブル③ 14:00~16:00

協同の視点を取り入れた職場の可能性 —職場でどう活用する！？ 協同教育—

後藤雅子（神奈川県立保健福祉大学）・谷川亮太（トヨタ名古屋自動車大学校）

野崎邦子（日本赤十字豊田看護大学）・白根奈巳（名古屋市立大手小学校）

石田裕久（南山大学）

334 教室 ワークショップ⑤ 14:00~15:30

国語科における看図アプローチ協同学習の授業づくり

—高等学校評論文指導の課題改善を図るために—

李軍（早稲田大学）

第2日 (10月27日：午前)

310 教室 ワークショップ⑥ 9:00~12:00

入門・LTD 話し合い学習法
安永悟 (久留米大学)

311 教室 ワークショップ⑦ 9:00~11:00

対話的学びを活性化する看図アプローチ
鹿内信善 (天使大学)・山下雅佳実 (中村学園大学)・石田ゆき (日本医療大学)

322 教室 口頭発表⑧ 10:00~12:00 座長：石山信幸 (久留米市立南筑高等学校)

中学2年生英語授業におけるマインドマップを用いた郷土にゆかりのある著名人
紹介英作文
山下由美子 (帝京大学)・城之内庸仁 (岡山市立桑田中学校)

「協同を促すコミュニケーションツールとしてのミニホワイトボードの活用」
一場面緘黙症の生徒の学習への取組を通して一
下村雅和 (岡山市立岡山後楽館高等学校)

教科書から作る高校数学の授業デザイン
大島貴幸 (北海道豊富高等学校)

FAM アプローチによる探究型授業実践から分かること
中村陽明 (四日市南高等学校)・水野正朗 (東海学園大学)

論理的思考力を伸ばし合うポスター発表
佐藤広子・鈴木道代（創価大学）

個別学習課題とグループ学習課題がもたらす影響の比較研究
—初年次教育科目「アカデミックスキルズ」を事例として—
西野 毅朗（京都橘大学）

多文化間の協同による学習効果
—「日本語教育基礎」の実践で学生が得た気づき—
藤原由紀子（関西学院大学）

初年次教育としての大学英語授業の役割
伏野久美子（立教大学）

ジグソー法を用いた対面授業の試み
中川潔美（岐阜協立大学）

協同の原理を活かした多職種連携教育
山本富士子・森下真弓・村松佳・大山睦子・若尾ふさ（甲府看護専門学校）
杉江修治

看護管理学に協同学習を導入した授業実践
—概念地図法を活用した学習効果について—
鈴木康美（埼玉県立大学）

看護教員の「協同学習を用いた授業実践」に関連する要因
—沖縄県専任教員再教育研修受講者への調査から—
緒方巧（梅花女子大学）・牧野典子（中部大学）

331 教室 口頭発表⑩ 10:00~12:00

座長：和井田節子（共栄大学）

私立学校における教員研修 —協働による校内教員研修への取り組み—
友野清文（昭和女子大学）・松本祐也（岩倉高等学校）

役割の共有と意識化による SA の学び・成長
—ディスカッション中心の語学授業における効果的な SA 活用に向けて—
阿部美恵子（専修大学）

「初等教科教育法（音楽）」での実践
—児童の主体的な学びを重視する学習活動を取り入れた指導案の作成—
石橋裕子（帝京科学大学）

事例的にみた「協同」についての学びの保持効果
—「ともに学ぶ」と「ともに働く」ことに関する—考察—
後藤雅子（神奈川立保健福祉大学）

332 教室 ワークショップ⑧ 9:00~11:00

協同学習の実践的指導力を養成するマンガケースメソッドプログラム
大黒孝文（同志社女子大学）

333 教室 ワークショップ⑨ 9:00~11:00

協同学習と英語教育 —英語で学ぶプレゼンテーションスキル—
諸井貴子（立教大学）・都築千絵（南山大学）

334 教室 ラウンドテーブル④ 9:00~11:00

どうすれば子供は学習を自分のこととして取り組むか
—岡山「協同学習研究会」8年の歩み—
企画 杉山義則（岡山県高梁市立宇治高等学校）・高旗浩志（岡山大学）
話題提供者 神田豊（大津市立中央小学校）
木村葵（岡山市立吉備小学校）
廣岡千絵（神戸市総合教育センター 教育相談室）
緒方清美（倉敷市立倉敷翔南高等学校）
村山大輔（岡山県立倉敷青陵高等学校）
久米託矢（岡山県高梁市立宇治高等学校）

第2日 (10月27日：午後)

51 番教室 記念講演 13：00～14：30

地域と学校の協働について —わかっちゃいるけどやめられない—
山崎亮 (株式会社 studio-L)

51 番教室 閉会式 14：40～15：00
